

# 平成25年度事業報告書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

## 《 総 括 》

平成25年度は、当研究所の中期ビジョン（平成21年度～30年度）の中間年次に相応しく、当研究所を取り巻く方々の研究所への期待により、当初計画時の16件の研究事業から大幅に増加し、24件の研究事業を実施することができた。「交通安全」、「交通円滑化」、「公共交通」、「環境・総合」の4重点分野のそれぞれを伸ばすことができ、なかでも近年最重要視している「交通安全」において注目された取組を実施し、豊田市交通まちづくりへの推進に貢献した。

自主研究では、生活道路におけるISA（高度速度制御）に関する総合研究、通勤における自転車の利用促進に関する研究、公共交通としてのタクシーの活用可能性に関する基礎研究、スマートハウスを活かしたエネルギーマネジメントに関する基礎調査等、合計10件を実施した。

受託研究では、愛知県におけるトヨタプローブ情報を利用した道路行政への活用業務委託、豊田市公共交通評価・利用促進業務委託、高齢者対象の事故防止方策実証実験、地域モビリティのサービス最適化検討調査業務委託等、合計14件を実施した。

報告会・セミナー等は、毎年度開催している研究成果報告会や毎月開催の「豊田まちと交通勉強会（まちべん）」等で市民との活発な意見交換を図った。さらに、豊田市・トヨタ自動車(株)等出捐者との双方向コミュニケーションの場として、三者で構成する「豊田市交通まちづくり研究会」を発足させ、研究を進めている。

研究成果の学会等での発表は、合計20の学術誌・学会等で27編・件の論文発表を行った。また、上述した論文発表以外に国内外において各種講演を15回行った。

資料発行事業は、研究所の実施事業内容を市民に対し幅広く知ってもらうために、研究成果報告会開催記録、機関紙「まちと交通」（43～46号）、「豊田都市交通研究所年報 平成25年度版」、各種研究調査報告書等を発行した。

当研究所は、上記の調査・研究成果や活動内容を適時ホームページ上でも紹介するなどして、広く社会に情報発信し、理解促進を図った。

ITS情報センターの指定管理者として、平成25年5月末の閉館まで、交通情報の提供など日常管理運営を行うとともに、これまでの事業成果を報告書として取りまとめた。

ITS情報センターの閉館に伴い、当研究所はITS技術や次世代環境技術を身近に体験することができる「とよたエコフルタウン」の北隣接地に、平成25年6月事務所を移転した。

## 《 事業活動 》

### 1 調査・研究事業（公益目的事業1）

#### （1）調査研究

##### ア 交通安全分野

- ① 生活道路におけるISA（高度速度制御）に関する研究（自主事業）
  - ・インフラである路側提示と車内助言の異なる情報提供方法より、面的速度マネジメントの実効性担保の一つとしてISA（高度速度制御）の導入に関する研究を行った。
  - ・路側提示型：産・学の共同研究としてWYS（Watch Your Speed）研究会を立ち上げた。平成25年12月に中部トラック総合研修センターにて実験と効果検証を行った。
  - ・車内助言型：スマートフォンを用いたシステムを開発し、平成26年度内に実施する実験の準備を行った。
- ② 生活道路の安全性評価に関する研究（自主事業）
  - ・安全・安心な交通まちづくりの実現が叫ばれる中、交通安全と防犯（街頭犯罪の抑制）の一体的な観点から、考察を試みた。
  - ・全市小学校区別の犯罪発生と事故発生の件数の相関性に着目し、特定した地区での詳細分析を試みた。
- ③ 交通事故の予防対策地点を効率的に抽出する手法に関する研究（自主事業）
  - ・市内のある民間会社の協力のもと、その社員によりヒヤリハット調査を実施した。リスクマネジメント的な視点から、豊田市内の企業への横展開を試みた。
  - ・豊田市の通学路緊急合同点検対策箇所一覧リストに基づき、その箇所をGoogle Map上に表示し、通学路交通安全対策の基礎資料の一部とした。
- ④ 知的障がい者の交通に関する研究（自主事業 助成金事業）
  - ・（公財）交通エコロジー・モビリティ財団の助成による二か年度事業（課題名：道路交通環境下における知的障がい者の交通コミュニケーション能力の把握とその応用）の最終年度で、大学教員と共同研究を行った。
  - ・エコフルタウンにて障がい者モニターとその家族らによって実験し、これまでの成果をとりまとめた。
- ⑤ 周辺土地利用と生活道路の理想性能を考慮した面的速度抑制対策箇所の選定方法に関する研究（自主事業 助成金事業）
  - ・（公財）タカタ財団の助成により、大学研究者との共同研究でゾーン30導入における対象地域選定のガイドラインを作成した。
  - ・これに基づき、岡山市・名古屋市・豊田市をケース・スタディとした。
- ⑥ 豊田市交通事故データ調査委託（受託事業 豊田市）
  - ・平成24年中に豊田市内で発生した交通死傷事故データを整理し、過年データとの照合・結合を行い、交通事故データベースを作成した。
  - ・交通事故の発生地点図を作成した。さらに、その事故特性の関連付けを行った。
- ⑦ 「平成25年とよたの交通事故」作成委託（受託事業 豊田市交通安全市民会議）
  - ・市民啓発用冊子「平成25年の交通事故統計 とよたの交通事故」を作成した。

- ⑧ 高齢者対象の事故防止方策実証実験 (受託事業 トヨタ自動車㈱)
  - ・増加する高齢ドライバーによる交通事故削減を目指し、車載注意喚起システム装置を開発した。その有効性評価のため、市民モニター50人による社会実験の運営管理等を行った。
  - ・二か年度事業の最終年度であり、実験データの整理や報告書を取りまとめた。
- ⑨ 交通事故発生状況調査分析委託 (受託事業 豊田市)
  - ・事故対策箇所の最新発生状況を整理し、さらに事故対策の効果検証などを行うための基礎資料を作成した。
- ⑩ 交通事故削減のトヨタプローブ情報の有効性検討における検討・調査 (受託事業 トヨタ自動車㈱)
  - ・愛知県・愛知県警・トヨタ自動車㈱で構成される自動車安全技術P Tプローブ情報活用WGに参加した。トヨタプローブデータから交通事故ヒヤリハットの発生地点を抽出し、現地調査を踏まえた対策提案を行った。
- ⑪ プローブ情報とドライブレコーダ情報を活用した交通情報検討業務委託 (受託事業 豊田市)
  - ・豊田市エコドライブプロジェクトにて収集したプローブ情報及びNECによるドライブレコーダ情報を基に、交通事故ヒヤリハットの発生地点を抽出し、現地調査を踏まえた対策提案を行った。
- ⑫ あんしん歩行エリア効果評価業務委託 (受託事業 豊田市)
  - ・平成21年度に指定されたあんしん歩行エリア(元城小学校区)の対策効果を歩行者・自転車事故の発生状況を中心に、エリア内の対策前後や豊田市全域との比較の上、検証した。
- ⑬ 自転車事故多発地点整理作業 (受託事業 豊田市)
  - ・豊田市内で発生した自転車関連死傷事故の事故発生状況を小学校区別に整理し、マップを作成した。

## イ 交通円滑化分野

- ① 通勤における自転車利用促進に関する研究 (自主事業)
  - ・スマートフォンを利用したソーシャルネットで交流・情報共有を図りながら、自転車利用のデータを取得する仕組みでモニターによる実験を行った。
  - ・実験で得た様々なデータを解析し、自転車利用のあり方を提案した。
- ② 交通需要マネジメント関連施策業務委託 (受託事業 豊田市)
  - ・豊田市が推進する低炭素型交通システムの実現に向けたTDM施策を効果的にすすめることを目的に、豊田市・豊田商工会議所との三者で取り組んでいる。平成25年度に「豊田市エコ通勤をすすめる会」を「豊田市エコ交通をすすめる会」に改めた。
  - ・同会の運営をし、会員事業所のエコ通勤促進を支援した。また平成25年11~12月には市内で「豊田エコ交通月間」活動を展開した。
- ③ 平成25年度渋滞状況図作成業務 (受託事業 豊田市)
  - ・(公財)日本道路交通情報センター(JARTIC)の渋滞統計システムデータを用いて、豊田市における渋滞状況図を作成した。

## ウ 公共交通分野

- ① 中山間地域における高齢者モビリティ調査に関する研究 (自主事業)
  - ・二か年度事業の初年度であり、既存資料および統計データ等から豊田市内の中山間地域の特性や生活支援サービスの実態を整理し、これを踏まえて詳細調査を行う対象地域を選出し、支所に対するヒアリング調査を実施した。
  - ・ほかの事業と関連付けながら、超高齢社会の我が国の高齢者モビリティのあるべき姿を探り、提案する予定である。
- ② 公共交通としてのタクシーの活用可能性に関する基礎的研究 (自主事業)
  - ・二か年度事業の初年度であり、まずはタクシー事業者の実態を把握するために中部運輸局ならびにタクシー協会の協力により中部管内のタクシー事業者にアンケート調査を実施した。
  - ・研究者、行政、事業者（協会）、実務者、専門紙記者らの有志で構成する研究会を設置し、研究体制を築いた。今後、調査結果の詳細分析を行いながら、研究会での議論によって地域公共交通サービスとしてのタクシーの有効活用策を検討していく予定である。
- ③ 豊田市公共交通評価・利用促進業務委託 (受託事業 豊田市)
  - ・豊田市が運行に関与する「とよたおいでんバス」「地域バス」の運行について、3年に1度を実施する評価を行うとともに、評価に対する地域からの意見を整理し、今後の課題を提示した。
  - ・とよたおいでんバスの利用促進策について、全市的な取り組み方策に加えて路線毎の地域特性を踏まえた利用促進策の方向性を検討した。
- ④ さんさんバス路線再編フォローアップ調査委託 (受託事業 みよし市)
  - ・バス利用者意識調査および利用実態調査を実施し、その結果を用いて過年度の路線再編に対する評価を行った。
  - ・今後の検討課題として、速達性と施設アクセス性の両立を目指すことの重要性を提言した。
- ⑤ 地域モビリティ・サービス最適化検討調査等業務委託 (受託事業 豊田市)
  - ・パーソントリップ調査データを用いて、地域毎の交通特性を分析し、実態を踏まえた地域モビリティの方向性を検討した。
  - ・市の交通まちづくり行動計画について、その進捗状況を整理するとともに目標設定見直しの方向性を検討した。
  - ・パーソナルモビリティの公道実証を目指して、市が構造改革特区申請を行うための現状調査および資料作成の支援を行った。

## エ 環境分野

- ① 走行実態に基づいたスマートドライブの提案に関する研究（自主事業 科学研究費事業）
  - ・科学研究費の助成による「速度マネジメントに着目したエコドライブ普及施策の定量的評価」であり（三か年度事業の二年度目）、その対象は関東（つくば）、中部（豊田）、関西（兵庫）の3か所である。
  - ・豊田市エコドライブ推進プロジェクトで得たプローブデータの解析を通じてスマートドライブの効果的な実施方法を検討した。
- ② スマートハウスを活かしたエネルギーマネジメントに関する基礎調査（自主事業）
  - ・二か年度事業の初年度であり、環境モデル都市の次なる展開を支援し、研究所の環境分野の新しい方向性を探るため、世界のスマートシティをレビューした。
  - ・中京都市圏第5次パーソントリップ調査（平成23年度）データや豊田市低炭素社会システム実証プロジェクト実験データを入手し、PHVやEVの普及と評価を主眼とする方向づけとした。

## オ 総合・その他分野

- ① ITS世界会議における施策PRパネル作成業務委託（受託事業 豊田市）
  - ・平成25年10月に東京で開催された、ITS世界会議の展示用ポスターを作成した。

## (2) 報告会・セミナー

### ア 研究成果報告会（主催）

日 時：平成25年7月5日（金）

場 所：豊田産業文化センター 小ホール

内 容：特別講演 「高齢者への事故低減について」

見市善紀（トヨタ自動車(株)製品企画部主幹）

研究概要 安藤良輔（研究部長）

成果報告 山崎基浩・三村泰広・樋口恵一

コメンテーター 松本幸正（名城大学理工学部教授）

河野安宣（ITSプラットフォーム21理事長）

荻野 弘（豊田工業高等専門学校名誉教授）

参加者：171名（聴講者）

### イ 第9回日中共同セミナー「交通とスマートシティ」（共催）

日 時：平成25年6月21日（金）～22日（土）

場 所：岐阜大学（岐阜市）

内 容：34講演（うち当研究所の研究員による講演は3件）

主 催：岐阜大学地域科学部 未来型太陽光発電システム研究センター

共 催：（公財）豊田都市交通研究所、名古屋大学、広島大学

協 賛：GAOTIME（上海）、（公財）岐阜観光コンベンション協会

参加者：約60名（うち中国から20人）

ウ 豊田まちと交通勉強会（まちべん）

回数：11回（3月を除く毎月1回）

場所：豊田都市交通研究所大会議室ほか

内容：情報提供 早田敏也・池上照子・岩田康也（トヨタ自動車(株) I T・I T S企画部）  
杉浦栄紀（豊田市企画政策部環境モデル都市推進課）

成果発表 当研究所各研究員

参加者：延べ221名

エ 豊田市交通まちづくり研究会

回数：全体会 5回

作業部会 8回

場所：豊田都市交通研究所大会議室ほか

内容：メンバー トヨタ自動車(株) 1名  
豊田市 4名  
豊田工業高等専門学校 1名  
(公財)豊田都市交通研究所 2名

進め方 「豊田市の未来を託す子ども達のために」をテーマに、交通教育の方針を示すことを目指して取り組んでいる。今後、豊田まちと交通勉強会（まちべん）や研究成果報告会で発表の場を設けると共に、学会などにおいても公表していく予定である。

(3) 論文発表等

査読付き論文及び国際会議論文15編、一般論文（国内学会・協会）12編の計27編の論文を発表した。

■査読付き論文及び国際会議論文 15編

ア 交通安全

① OR応用に関する国際シンポジウム2013（モロッコ・マラケシュ）

発表年月：平成25年5月

テーマ：An analysis on relations between consciousness of garbage truck drivers and their experiences of unsafe driving behaviors

著者：安藤良輔・三村泰広

② The 16 “Meeting of the EURO Working Group on Transportation  
（ポルトガル・ポルト）

発表年月：平成25年9月

テーマ：A study on Entrance of Speed Limit Zone Based on Users' Consciousness in Japan

著者：安藤良輔・三村泰広

③ 交通工学研究発表会（東京都千代田区）

発表年月：平成25年9月

テーマ：生活道路走行時の高齢運転者の注意意識と挙動に関する基礎的研究

著者：三村泰広

④ 日本都市計画学会学術研究論文発表会（東京都千代田区）

発表年月：平成25年11月

テーマ：自治区における歩行者・自転車事故実態とゾーン30導入意向の関係性分析  
ー豊田市におけるケース・スタディー

著者：三村泰広・樋口恵一・安藤良輔

⑤ Procedia-Social and Behavioral Sciences, Vol.111,p.88-97

発表年月：平成26年2月

テーマ：A study on Entrance of Speed Limit Zone Based on Users' Consciousness  
in Japan

著者：安藤良輔・三村泰広

イ 公共交通

① Selected Proceedings of the 13th World Conference on Transport Research  
(ブラジル・リオデジャネイロ)

発表年月：平成25年7月

テーマ：AN EMPIRICAL STUDY ON SUSTAINABLE FORMATION OF LOCAL  
PUBLIC TRANSPORT SYSTEMS BY PARTICIPATION OF COMMUNITY  
MEMBERS

著者：福本雅之 他

② International Conference Series on Competition and Ownership in Land  
Passenger Transport (イギリス・オックスフォード)

発表年月：平成25年9月

テーマ：The design, management and operation of flexible transport systems:  
comparison of experience between UK, Japan and India

著者：福本雅之 他

③ 日本地域政策学研究第12号

発表年月：平成26年3月

テーマ：施設への接続性に関するバス利用者の意識分析  
ー愛知県みよし市「さんさんバス」を事例にー

著者：樋口恵一・山崎基浩・福本雅之

ウ 環境

① 27th international electric vehicle symposium (スペイン・バルセロナ)

発表年月：平成25年11月

テーマ：Comparative measurements of the eco-driving effect between  
electric and internal Combustion engine vehicles

著者：加藤秀樹・安藤良輔 他

## エ 総合・その他

- ① Selected Proceedings of the 13th World Conference on Transport Research  
(ブラジル・リオデジャネイロ)  
発表年月：平成25年7月  
テーマ：An Analysis on mobility of people with disabilities in a Japanese local city  
著者：安藤良輔・三村泰広 他
- ② 第2回空間計画と持続的な発展に関する国際会議（中国・北京）  
発表年月：平成25年8月  
テーマ：Mobility of Disable People in Toyota City  
著者：安藤良輔・三村泰広 他
- ③ Proceedings of the Eastern Asia Society for Transportation Studies, Vol.9,  
Paper No.95, 2013  
発表年月：平成25年9月  
テーマ：Measuring the acceptability of Self-Balancing  
Two-Wheeled Personal Mobility Vehicles  
著者：安藤良輔 他
- ④ Proceedings of the 20th ITS World Congress, Scientific Paper,  
Paper No. 4017, 2013  
発表年月：平成25年10月  
テーマ：A Case Study on Evaluation of Three-wheeled Personal Mobility  
Vehicles Using i-REAL  
著者：安藤良輔・加藤秀樹 他
- ⑤ 福祉のまちづくり研究, Vol. 115, No.3, 2013.11  
発表年月：平成25年11月  
テーマ：単独行動の可否が知的・精神障がい者の日常生活活動に与える影響に関する  
基礎的研究  
著者：三村泰広
- ⑥ Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies, Vol. 10,  
p444-453, 2013  
発表年月：平成25年12月  
テーマ：Measuring the acceptability of Self-Balancing  
Two-Wheeled Personal Mobility Vehicles  
著者：安藤良輔 他



■一般論文（国内学会・協会） 12編

ア 交通安全

① 第47回土木計画学研究発表会（広島市）

発表年月：平成25年6月

テーマ：WEBアンケートを活用したヒヤリハット地点の把握と予防対策への活用に関する基礎的検討

著者：加藤秀樹・安藤良輔・三村泰広・小野剛史・樋口恵一 他

② 第47回土木計画学研究発表会（広島市）

発表年月：平成25年6月

テーマ：高齢運転者における生活道路での強制型・助言型車載速度制御の受容性

著者：三村泰広・小野剛史・安藤良輔 他

③ 日本の福祉まちづくり学会第16回全国大会（仙台市）

発表年月：平成25年8月

テーマ：交通静穏化策が高齢ドライバーの確認行動に与える影響  
ーゾーン30導入エリアを対象としてー

著者：樋口恵一・三村泰広 他

④ 第48回土木計画学研究発表会（大阪市）

発表年月：平成25年11月

テーマ：ゾーン30整備が運転時の確認行動に与える影響評価

著者：樋口恵一・三村泰広・加藤秀樹・小野剛史・安藤良輔 他

⑤ 第48回土木計画学研究発表会（大阪市）

発表年月：平成25年11月

テーマ：ゾーン30の認知が運転者の安全行動に与える影響分析

著者：三村泰広・樋口恵一・加藤秀樹・小野剛史・安藤良輔 他

⑥ 土木学会中部支部研究発表会（岐阜市）

発表年月：平成26年3月

テーマ：リスクアセスメントの考え方をういたヒヤリハット調査による交通事故危険  
地点の把握

著者：福本雅之・加藤秀樹・安藤良輔・三村泰広

イ 交通円滑化

① 第47回土木計画学研究発表会（広島市）

発表年月：平成25年6月

テーマ：自転車利用時の交通安全に対する意識の実態

著者：小野剛史・山崎基浩・樋口恵一 他

② 第8回日本モビリティ・マネジメント会議（仙台市）

発表年月：平成25年7月

テーマ：自転車通勤促進のための安全意識調査と啓発冊子の作成

著者：山崎基浩・小野剛史・樋口恵一 他

## ウ 公共交通

- ① 第47回土木計画学研究発表会（広島市）  
発表年月：平成25年6月  
テーマ：地域公共交通確保維持に対する住民意識  
著者：山崎基浩・樋口恵一 他
- ② 第48回土木計画学研究発表会（大阪市）  
発表年月：平成25年11月  
テーマ：豊田市のバス交通サービス運営における評価・改善の取り組み  
著者：山崎基浩・樋口恵一 他
- ③ 土木学会中部支部研究発表会（岐阜市）  
発表年月：平成26年3月  
テーマ：豊田市おいでんバスにおける多面的な運営評価に関する一考察  
著者：樋口恵一・山崎基浩 他

## エ 環境

- ① 第9回日中共同セミナー（岐阜市）  
発表年月：平成25年6月  
テーマ：Potential of PHV to Reduce CO2 Emission Estimated from Probe Car Data  
著者：加藤秀樹・安藤良輔・柵木明夫

### ■著作・資料

下記の著作・資料4冊を執筆した。

- ① エコドライブ活動による日常の運転特性の変化に関する研究  
出版年月：平成25年11月  
著者：加藤秀樹、安藤良輔 他（共著）  
発行：（公社）自動車技術会（自動車技術会論文集 Vol.44 No.6）
- ② 大規模震災時における救援物資輸送のための交通管理に関する研究  
出版年月：平成25年11月  
著者：樋口恵一 他（共著）  
発行：（公社）日本交通政策研究会
- ③ 土木計画学—社会資本整備とマネジメント—  
出版年月：平成25年12月  
著者：山崎基浩 他（共著）  
発行：（株）オーム社
- ④ 鉄道と地域発展  
出版年月：平成26年3月  
著者：山崎基浩 他（共著）  
発行：中京大学経済学部附属経済研究所

## ■寄稿

### ① 地域交通としてのタクシー活用を考える

発行日：平成25年12月25日

寄稿者：山崎基浩

掲載：ESTメールマガジン第89号

発行：環境的に持続可能な交通（EST）普及推進委員会事務局

## (4) 講演

4名の研究員が外部の各種会議・セミナー等において、下記の合計15回の講演を行った。

### ① 交通の環境問題とエコドライブ

講演日：平成25年4月19日

講演者：加藤秀樹

講演会：(一社)兵庫県計量協会環境計量証明部会 第33回総会特別講演

会場：ホテルオークラ（兵庫県）

### ② Toyota City is Approaching to a Smart City

講演日：平成25年5月9日

講演者：安藤良輔

講演会：ISORAP 2013（OR応用に関する国際シンポジウム2013）基調講演

会場：RYAD MOGADOR GUELIZ（モロッコ・マラケシュ）

### ③ 地域公共交通施策への心構え

講演日：平成25年5月20日

講演者：福本雅之

講演会：岐阜運輸支局 地域公共交通セミナー（入門編）

会場：じゅうろくプラザ（岐阜県）

### ④ ITSを活用するまちづくり——地方都市の取組からの展望——

講演日：平成25年6月17日

講演者：安藤良輔

講演会：あいちITS大学セミナー

会場：名城大学（名古屋市）

### ⑤ 交通計画学——都市交通について考えてみよう！——

講演日：平成25年6月29日

講演者：山崎基浩

講演会：愛知教育大学附属岡崎中学校Pネット講座

会場：愛知教育大学附属岡崎中学校（岡崎市）

### ⑥ 「スマートムーブ」の必要性と豊田市エコ通勤をすすめる会の取り組み

講演日：平成25年8月10日

講演者：山崎基浩

講演会：「ひょうごスマートムーブ」セミナー基調講演

会場：高砂市生石研修センター（兵庫県）

- ⑦ Smart City : Case in Toyota City  
講演日：平成25年8月30日  
講演者：安藤良輔  
講演会：城市交通研究院、住房城郷建設部（国土交通省）地下鉄LRT研究中心  
主催講演会  
会場：中国・北京市
- ⑧ 交通の環境問題に関する研究所の取り組み  
講演日：平成25年9月5日  
講演者：加藤秀樹  
講演会：日立名古屋会自動車分科会  
会場：日立製作所中部支社（名古屋市）
- ⑨ 政策課題検討テーマ ③中心市街地の集約と賑わいを支援する交通体系と環境配慮」  
コーディネーター  
講演日：平成25年10月9～11日  
講演者：山崎基浩  
講演会：第3回地域の交通環境対策推進者養成研修会  
（環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員）  
会場：じゅうろくプラザ（岐阜県）
- ⑩ 地域公共交通におけるデマンド交通の役割 その特性と位置づけ  
講演日：平成25年11月13日  
講演者：福本雅之  
講演会：(一社)地域問題研究所 第41次市町村ゼミナール第8講  
会場：名古屋栄ビルディング（名古屋市）
- ⑪ 地域交通ネットワークの形成に向け各交通モードに望まれる役割とは  
講演日：平成25年11月14日  
講演者：福本雅之  
講演会：岐阜運輸支局 地域公共交通ロールプレー研修  
会場：美濃市役所（岐阜県）
- ⑫ スマートムーブ活動を継続し、自分の街に広げていくにはどうすればよいか？  
（車座会議コーディネーター）  
講演日：平成25年11月23日  
講演者：加藤秀樹  
講演会：ひょうごスマートムーブコンソーシアム スマート活動勉強会  
会場：高砂市生石研修センター（兵庫県）
- ⑬ 地域公共交通におけるデマンドの役割  
講演日：平成26年1月17日  
講演者：福本雅之  
講演会：岩倉市議会議会改革講演会  
会場：岩倉市議会（岩倉市）

⑭ Google Map API の活用事例に関する紹介

講演日：平成26年2月12日

講演者：加藤秀樹

講演会：安全安心地域共創リサーチセンター特別講演会

会 場：豊橋技術科学大学（豊橋市）

⑮ 地域公共交通の運営と評価

講演日：平成26年3月27日

講演者：山崎基浩

講演会：尾北地区広域交通網対策連絡協議会担当者研修会

会 場：大口町役場（大口町）

(5) 資料発行

ア 機関紙「まちと交通」

- ① 43号（平成25年 5月）特集：次世代自動車の普及による低炭素社会の実現に向けて
- ② 44号（平成25年 8月）特集：「豊田エコ交通をすすめる会」の取組み
- ③ 45号（平成25年11月）特集：ゾーン30の認知が運転者の安全運転行動に与える影響
- ④ 46号（平成26年 2月）特集：沿線施設アクセスに関するバス利用者の意識分析

イ「豊田都市交通研究所年報 平成25年度版（平成24年度実績）」（平成25年6月）

ウ「平成25年度 研究成果報告会開催記録」（平成25年8月）

エ 自主研究報告書（平成26年3月）

「研究調査報告2013-①：生活道路におけるISAに関する研究 報告書」

「研究調査報告2013-②：生活道路の安全性評価

～交通事故と犯罪の発生件数に着目して～ 報告書」

「研究調査報告2013-③：交通事故の予防対策地点を効率的に抽出する手法に関する研究報告書」

「研究調査報告2013-④：道路交通環境下における知的障がい者の交通コミュニケーション能力の把握とその応用 報告書」

「研究調査報告2013-⑤：周辺土地利用と生活道路の理想性能を考慮した面的速度抑制対策箇所を選定方法に関する研究 報告書」

「研究調査報告2013-⑥：平成25年度 通勤における自転車利用促進に関する研究 報告書」

「研究調査報告2013-⑦：平成25年度 中山間地域における高齢者モビリティ調査 報告書」

「研究調査報告2013-⑧：平成25年度 公共交通としてのタクシーの活用可能性に関する基礎的研究 報告書」

「研究調査報告2013-⑨：平成25年度 走行実態に基づいたスマートドライブの提案に関する研究 報告書（中間報告）」

「研究調査報告2013-⑩：平成25年度 スマートハウスを生かしたエネルギーマネジメントに関する基礎調査 報告書（中間報告）」

オ 受託研究報告書・成果品

- ① 平成25年度 豊田市交通事故データ調査委託 成果品（マップ帳）（委託者：豊田市）
- ② 平成25年の交通事故統計 とよたの交通事故（冊子）  
（委託者：豊田市交通安全市民会議）
- ③ 「豊田市フィールド実験」高齢ドライバ運転行動調査および交差点事故防止支援装置の  
受容性調査検討の運営、データ収集・整理委託 報告書（委託者：トヨタ自動車株）
- ④ 交通事故発生状況調査分析委託 成果品（資料）（委託者：豊田市）
- ⑤ 交通事故削減のトヨタプローブ情報の有効性検討における検討・調査 報告書  
（委託者：トヨタ自動車株）
- ⑥ 平成25年度 プローブ情報とドライブレコーダ情報を活用した交通情報検討業務委託  
報告書（委託者：豊田市）
- ⑦ あんしん歩行エリア効果評価業務委託 報告書（委託者：豊田市）
- ⑧ 自転車事故多発地点整理作業 成果品（資料）（委託者：豊田市）
- ⑨ 交通需要マネジメント関連施策業務委託 報告書（委託者：豊田市）
- ⑩ 平成25年度 渋滞状況図作成業務 成果品（マップ帳）（委託者：豊田市）
- ⑪ 平成25年度 豊田市公共交通評価・利用促進業務委託 報告書（委託者：豊田市）
- ⑫ 平成25年度 さんさんバス路線再編フォローアップ調査委託 報告書  
（委託者：みよし市）
- ⑬ 平成25年度 地域モビリティ・サービス最適化検討調査等業務委託 報告書  
（委託者：豊田市）
- ⑭ ITS世界会議における施策PRパネル作成業務委託 成果品（パネル）  
（委託者：豊田市）

(6) 研究企画委員会

回	年月日	主 な 議 題
1	H25.5.15	1 前回委員会議事録（案）確認 2 平成25年度研究企画委員会開催計画（案）について 3 平成25年度重点分野研究計画(案)について（交通安全） 4 平成25年度その他分野研究計画(案)について
2	H25.7.5	1 前回委員会議事録（案）確認 2 平成25年度重点分野研究中間報告について（公共交通） 3 平成25年度その他分野研究中間報告について
3	H25.10.11	1 前回委員会議事録（案）確認 2 平成25年度重点分野研究中間報告について（交通円滑化・環境） 3 平成25年度その他分野研究中間報告について
4	H26.1.10	1 前回委員会議事録（案）確認 2 平成26年度研究企画（案）について
5	H26.2.28	1 前回委員会議事録（案）確認 2 平成25年度各分野の研究成果とりまとめについて 3 平成26年度研究企画テーマ（修正案）について 4 平成26年度広報活動へご協力をお願い

2 ITS情報センター管理運営事業（公益目的事業2）

(1) 施設管理運営（委託者：豊田市）

ア ITS情報センターの指定管理者として、センターの日常管理運営

ITS情報センターは、公共交通情報などの円滑な移動情報の提供、ITSの普及・促進を目的に平成16年8月31日に供用開始され、それ以後当研究所が継続して管理運営業務を行ってきた。しかし、ポータルサイトの利用増加により移動情報を提供する施設としての役割が希薄になってきたこと、新たなITS技術の情報発信拠点が整備されたことなど行政需要の変化を理由に、平成25年5月31日をもって閉館となった。

※4月、5月の来場者数：2,190人（前年同月比99.6%）

イ 報告書：平成25年度 豊田市ITS情報センター事業報告書

(2) センター運営改善に関連する検討・提案（委託者：豊田市）

本年度は2か月間のみ運営であったため、主に閉館に向けた業務を行った。

ア ITS情報センターにおける事業成果の整理

ITS情報センターの閉館を受け、これまでの事業の取組を設立期（平成16、17年度）、改善期（平成18、19年度）、定着期（平成20年度以降）に分けて整理した。さらに、センターを行政視線、市民目線で評価した上で、センター廃止後の今後の課題を整理した。

イ 報告書：平成25年度 「豊田市ITS情報センター」における事業成果の整理 報告書

《 法人運営 》

1 理事会・評議員会等

(1) 理事会

回	年月日	内 容
11	H25.5.15	議案第 1号 平成24年度事業報告及び決算報告について (承認事項) 議案第 2号 評議員の候補者の選出について(決議事項) 議案第 3号 定款の一部改正について(特別決議事項) 報告第 1号 平成24年度基本財産等の運用状況について 報告第 2号 平成24年度事業及び予算の執行状況について
12	H25.11.29	議案第 4号 給与規則の一部改正について(決議事項) 議案第 5号 豊田都市交通研究所中期ビジョンの変更について (決議事項) 議案第 6号 平成25年度収支予算(損益)の補正について (承認事項) 報告第 3号 平成25年度事業及び予算の執行状況について
13	H26.3.25	議案第 7号 職員再雇用規則について(決議事項) 議案第 8号 給与規則の一部改正について(決議事項) 議案第 9号 平成25年度収支予算(損益)の補正について (承認事項) 議案第10号 平成26年度事業計画及び収支予算(損益)につ いて(承認事項) 議案第11号 理事の候補者の選出について(決議事項) 議案第12号 監事の候補者の選出について(決議事項) 議案第13号 評議員の候補者の選出について(決議事項) 議案第14号 研究企画委員会の委員の選任について(決議事項) 議案第15号 事務局長の選任について(決議事項) 議案第16号 第5回臨時評議員会の決議の省略の方法について (決議事項) 議案第17号 第6回定時評議員会の招集について(決議事項)

(2) 監事会

回	年月日	内 容
1	H25.5.10	会計・業務監査



(3) 評議員会

回	年月日	内 容
4	H25.5.31	議案第1号 評議員の選任について（決議事項） 議案第2号 平成24年度事業報告及び決算について（承認事項） 議案第3号 定款の一部改正について（特別決議事項） 報告第1号 平成24年度基本財産等の運用状況について 報告第2号 平成25年度事業計画及び収支予算（損益）につい て 報告第3号 豊田都市交通研究所の事務所移転について

《 附属明細書について 》

平成25年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、作成していない。